

第6回長島おさかな祭り 活きのいいのが揚がったヨ!!

→競りにかけられる
活きのいい魚介類



海に囲まれた長島ならではの祭り「第6回長島おさかな祭り」が11月24日、薄井漁港でありました。
ブリの養殖日本一の長島が誇る「鰯王」のほか、豊かな恵みで育まれた天然の魚介類などを求めて、県内外から約1万5千人が詰め掛けました。
平尾保育園の園児らによる踊りで幕を開け、買い物客らは新鮮な魚介類や加工品など、目当



↑大人気の模擬入札

ての商品を探しまわり、あちこちで長蛇の列ができました。
大人気の模擬入札では新鮮な魚介類が入ったト口箱一つ一つが次々に競りにかけられ、競り人の気合の入った声が会場内に響きました。競り落とした参加者からは笑顔がこぼれました。
港内では、大漁旗をなびかせた船団がパレードを行い、観客からは大きな拍手で迎えました。



↑たくさんの買い物客で混雑する会場内

昨年に引き続き、東町漁協で実習生として漁業体験をした鹿児島水産高校の2、3年生6人が、恩返しとして祭りに参加しました。ブリ試食の呼び込みや販売する魚の袋詰めなどを手伝いました。南九州市の上野嵐君（2年）は「はじめて祭りに参加したけど、人が多くて驚いた。パレードがすごかった」と話しました。



↑島津悦子さんによる歌謡ショー

迫力の漁船パレードの様子

